

第三回人文知応援大会 大会宣言

2023年2月25日
人文知応援フォーラム

人類はこの地球に生を受けて以来さまざまな制約や試練に遭遇したが、そのたびに知性とテクノロジーの力でそれらを乗り越えてきた。農耕・牧畜革命、産業・科学技術革命そして情報革命はその足跡でもある。

しかしわれわれがいま直面している危機は、自然への過度の介入や社会の分断などかつてなく複雑かつ深刻で抜本的解決が困難なものである。そしてそれらは過去の危機を乗り越える過程で「先送り」してきた諸問題—際限なき権力や富への欲望、民族や宗教の対立—の集積でもあることを見逃してはならない。

明るい未来をつくるためには、これらの問題をこれ以上安易に先送りせず、今真剣にとり組まねばならない。そのためには言語化された専門知や理念、高度なテクノロジーのみに依存するだけでは十分でない。過去に蓄積してきた「危機を生き抜く知」(レジリエンス)から改めて学び直さねばならない。それは人類がかつて共食などを通して身体の共鳴による共感力を高め、社会性を拡大することによって、厳しい環境における生存を確保してきた実績である。

欲望を適切に制御し、自然との親和性や社会の連帯を強化する上で鍵となるのがこの共感力である。それを育むのは非認知的能力であり、音楽など文化芸術の力によってそれを高める仕組みを社会に実装していくことに努めるべきである。

これはまさしく「人間とは何か」という問いを甞し続けることで「人文知」を社会に広げるといふ、われわれのフォーラムの目的達成の重要な柱なのである。

了